



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,534	19.9	637	10.5	635	13.8	396	△41.9
26年3月期第3四半期	4,615	4.4	576	10.8	557	7.5	682	117.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 419百万円 (△34.6%) 26年3月期第3四半期 641百万円 (102.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	68.05	—
26年3月期第3四半期	117.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,362	6,271	60.5
26年3月期	9,912	5,951	60.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,271百万円 26年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	6.1	890	△7.6	870	△6.8	530	△40.4	91.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,270,000 株	26年3月期	6,270,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	450,574 株	26年3月期	449,299 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	5,820,278 株	26年3月期3Q	5,822,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、総じて企業の景況感や設備投資の緩やかな回復基調は継続しているものの、急激な円安進行や消費税増税後の消費回復の遅れなどもあり、全体としては力強さに欠ける展開が続いております。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品を中心として、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスする等、鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,534百万円(前年同期比19.9%増)、損益面では経常利益635百万円(前年同期比13.8%増)、四半期純利益396百万円(前年同期比41.9%減)となりました。

なお、前年第3四半期には、株式会社千代田エレクトロニクスを連結子会社としたことに伴う特別利益(負ののれん発生益)303百万円を計上しました。

② 営業の分野別状況

当第3四半期連結累計期間における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、マルチファンクションジェネレータWF1967/WF1968を上市するなど、継続的な新製品の開発と拡販に努めており、当期においては、ファンクションジェネレータへの需要が高く、また周波数特性分析器やLCRメーターをはじめ全般的に堅調に推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は755百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、直流電子負荷DL3000シリーズ、低雑音直流電源LPシリーズ、およびプログラマブル交流電源DP-Rシリーズを上市するなど、新製品の開発と拡販に努めており、当期においては、コンパクト交流電源や保護リレー試験器等が堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,909百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにして開発したカスタム製品が主ですが、航空宇宙関連を中心に総じて堅調に推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は664百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当期においては、系統連系関連装置が堅調に推移し、また表面処理用を中心とした各種カスタム電源装置も寄与し、総じて好調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は1,881百万円(前年同期比69.6%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および仕入商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は323百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は売上債権などが減少したものの、現金及び預金、たな卸資産の増加などにより、前連結会計年度と比較して450百万円増加し、10,362百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、131百万円増加し4,091百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、319百万円増加し6,271百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国経済は引き続き底堅い回復が続くと期待されるものの、中国は減速局面に移行しつつあり、欧州は低迷状況にあります。一方、国内においては、全般的には景気の回復基調は維持され、設備投資の増加が期待されるものの、世界政情不安、原油価格動向など不安定化の懸念もあり、引き続き楽観できない状況が続くものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループにおいては、環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化、環境エネルギー関連商品の開発などを引き続き推進してまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動をなお一層強力で展開してまいります。

なお、業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,532,609	2,689,096
受取手形及び売掛金	2,772,554	2,640,180
商品及び製品	505,360	585,475
仕掛品	492,171	738,079
原材料	743,607	751,746
その他	289,548	209,237
貸倒引当金	△10,090	△10,000
流動資産合計	7,325,760	7,603,816
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,340,897	1,341,245
その他(純額)	768,878	810,434
有形固定資産合計	2,109,776	2,151,679
無形固定資産	211,247	283,453
投資その他の資産	265,277	323,647
固定資産合計	2,586,300	2,758,780
資産合計	9,912,061	10,362,597
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	683,542	1,018,328
短期借入金	21,000	220,200
未払法人税等	296,741	10,303
賞与引当金	312,657	99,488
役員賞与引当金	31,100	—
受注損失引当金	8,000	3,000
その他	871,741	942,254
流動負債合計	2,224,783	2,293,573
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,143,000	1,226,400
退職給付に係る負債	164,284	158,276
長期未払金	99,592	98,065
資産除去債務	19,370	19,427
その他	209,116	195,765
固定負債合計	1,735,364	1,797,934
負債合計	3,960,147	4,091,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	4,044,866	4,341,982
自己株式	△199,535	△200,846
株主資本合計	5,932,831	6,228,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,082	42,452
その他の包括利益累計額合計	19,082	42,452
純資産合計	5,951,913	6,271,088
負債純資産合計	9,912,061	10,362,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,615,916	5,534,954
売上原価	2,754,648	3,383,380
売上総利益	1,861,268	2,151,573
販売費及び一般管理費	1,284,740	1,514,484
営業利益	576,527	637,089
営業外収益		
受取利息	723	600
受取配当金	7,475	18,175
その他	9,411	12,592
営業外収益合計	17,611	31,369
営業外費用		
支払利息	23,776	23,611
売上割引	7,049	6,464
その他	5,319	3,280
営業外費用合計	36,144	33,357
経常利益	557,994	635,101
特別利益		
投資有価証券売却益	66,078	—
負ののれん発生益	303,612	—
特別利益合計	369,690	—
特別損失		
固定資産除却損	595	7,593
投資有価証券評価損	240	—
投資有価証券償還損	100	—
社葬費用	8,377	—
特別損失合計	9,313	7,593
税金等調整前四半期純利益	918,371	627,507
法人税、住民税及び事業税	145,057	121,388
法人税等調整額	91,057	110,052
法人税等合計	236,115	231,440
四半期純利益	682,256	396,067

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
四半期純利益	682,256	396,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,726	23,370
その他の包括利益合計	△40,726	23,370
四半期包括利益	641,529	419,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	641,529	419,437
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。